

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

## ・百万人参観者運動を

'82年3月来館者数	7,181名
通算1カ月平均来館者数	4,056名
当月1日平均来館者数	266名
<b>通算来館者数</b>	<b>275,847名</b>

## 核廃絶と反ソ・反米は無縁

いまこそSSDⅡで真剣な核廃絶への道を  
第五福竜丸平和協会専務理事 広田重道

「ソ連の脅威」が米軍拡の根拠  
いま、レーガン米政府が進め  
ている核軍拡政策は、すべて「ソ  
連の脅威」を唯一の根拠として  
いるが、その正当化のためにソ  
連といえば諸悪の根源のように  
攻撃している。

ソ連の国家政策について、私  
どもも俄かに賛成しかねるもの  
があっても、それだけでソ連の  
諸政策はすべて「悪」ときめつ  
けることは、おかしい。とくに  
核廃絶について、ソ連がどんな  
政策をとり、どんなことを主張  
しているかに耳をかさず、ソ連  
には誠意の一片

もないかのように  
に決めつけるア  
メリカの態度に  
は、納得いかな  
いものがある。  
アメリカこそ積  
極策を



もなないかのように  
に決めつけるア  
メリカの態度に  
は、納得いかな  
いものがある。  
アメリカこそ積  
極策を

そもそも、核兵器開発につい  
ては、アメリカが世界にさきが  
けて、原爆製造に成功している  
のであり、いわば本家、元祖に  
当る。ソ連はそれに追いついた  
のであり、核兵器の完全禁止に  
ついて、本家のアメリカがイ  
ンシアチーブを發揮して、世界  
の国民に支持されるような提案  
を公けにすべきだろう。

残念ながら、核廃絶について  
のアメリカの積極的で具体的な  
提案はまだ聞かれず、徒らにソ  
連提案への不信と猜疑に満ちた  
態度、公表に終っているのは違  
憾の極みである。

核廃絶は反米・反ソとは無縁  
本当に人類の未来を考え、今  
日の人類の危機を憂うならば、  
肝心の核兵器所有の超大国であ  
るアメリカとソ連との間の不和  
と敵愾心を煽るのではなく、二  
大超国家を同じテーブルで話し

合わせることこそ期待すべき  
ではなからうか。

そのためには、米ソ二大国の  
主張にも耳を傾け、徒らに独善  
的見解に立って、好意の発言に  
も耳をかさないという態度を避  
けるべきである。

こうした立場をとるとき、と  
かくアメリカの発言のみを重視  
し、ソ連の提案には何らの配慮  
もしない政治家の余りに多い日  
本の現状に胸を痛めるものは、  
私らだけではあるまい。

米ソを話し合いの場に  
いま、世界的に展開されてい  
る「反ソ・キャンペーン」をみ  
ると、それが決して自然である  
とは見えない。

先般のブレジネフ提案―欧州  
核配備凍結案についても、アメ  
リカは「核軍縮に十分な効果は  
ない」と拒否するだけでなく、  
では、どうするかという提案を  
こそ諸国民、とくに核非保有国  
の国民にむけて行うべきで、日  
本国政府は、徒らに反ソ的立場  
でアメリカに迎合することを止  
めるべきだろう。

## 来館者の 声から

ここに来たのは初めてだけど  
テレビで三日前にみました。も  
っといろいろな事が知りたいの  
で大人になったら、広島に一度  
行ってみたいです。もう二度と  
核で人間にひがいがあるのはい  
やだな。 Y・E

私はよく父や母から戦争の事  
をよくきかされています。でも  
ビキニ水爆のことはあまり知ら  
なかったのです。とてもびっくり  
しました。私が大人になったら  
もうこんな事は二度とおこさせ  
ないようにしたいと思います。  
そして、この福竜丸をいつまで  
も残してほしいです。 S・K

東京出張の余った時間を利用  
して訪ねました。平和を維持す  
ることの大切さと、人々の善意  
が(特に保存運動に携わった人

々)再確認できてよかったですと思  
います。 愛知県 上島敏彦

この展示館の中を見て思った  
ことは、これからも核戦争はあ  
ってはならないものだと感じた  
ことでした。ぼくたちと同じ年  
令の人が白血病にかかったりし  
ていることだと思う。世界の人  
々はもっと核について認識し考  
え、世界の平和を守るために努  
力してもらいたいと思います。 T・M

原爆・戦争・虐殺というもの  
が、人間を一つの炭の固まりの  
ようにして死に至らせる。人間  
の死、人間の生がこのように扱  
かれていいはずがない。アジ  
ア人もアメリカ人もみな同じ人  
間だということを忘れずにいる  
ことがなぜこのように難しいの  
だろうか。久保山愛吉さんの遺  
言を絶対に無駄にしたいくない。  
そのためにも、反戦争という一  
点で世界の人々が団結しなくて  
はならない。原爆というヒロ  
シマ・ナガサキというかんじで

あった。もっと勉強しなくては！

このふねはなんでもつかわれ  
て、いまではこのはくぶつかん  
にりっぱにかざられている。水  
ばくは人をきづつけ、とてもざ  
んこくだと心で思った。  
奥沢小 小四 太田祐輔

### 特別こんだん会へ

●どなたもどうぞ！  
一線ジャーナリストから  
きたんのない話を聞く

最近の反核運動の  
高まりとその背景

▼朝日新聞編集委員  
岩垂 弘氏ほか

▼とき・ところ  
四月二十八日(水)  
午後六時から

日本教育会館八階  
八〇三会議室

第五福竜丸平和協会主催

### 編集後記

▼夢の島の展示館の前には、久  
保山愛吉記念碑(原水爆禁止の  
碑)があり、その背後を夾竹桃  
がとり囲んでいます。

▼この夾竹桃は広島市の花であ  
り、原爆の花として歌にも唱わ  
れています。それが久保山碑を  
守っているのは適当だが、長崎  
市の花―あじさいがないのは淋  
しいという声がありました。

▼このほど新聞記者の白井千尋  
氏が、その話に共鳴して、前後  
七鉢のあじさいを寄贈され、ま  
た松山義夫副会長からも一鉢の  
寄贈がありました。

▼果して夢の島にあじさいが育  
つかと疑う人もあります。何し  
るゴミの埋め立て地なのですか  
ら。そこで、このたび頂いた  
八本のあじさいで試験してみ  
て、長崎市などにも呼びかけて、大  
々的なあじさい園を作ろうとい  
う声があがっています。

▼いろいろな方の善意が、夢の  
島を次第に豊かにしていくのは  
嬉しいことです。(H)

# 非核運動に高まる展示館

## 見学の波——三月は昨年比二千余増

ヒロシマ・ナガサキの心を世界にノ 三月二十一日の平和のためのヒロシマ行動に集った二十万の人々の熱気、文学者・美術界、演劇人：文化・芸術家のあいっぐ反核声明、スポーツ界も旧軍の関係者も核兵器廃絶に

たちあがりまし。そうした世論の高揚のなかで第五福竜丸展示館見学者の数も大きくふくらんで、三月は七千名をこえ昨年三月より二千五百名増加の状況で、船を見る人々の姿も心なしか熱心です。館内の片すみで行なわれている「三千万国民署名」にも列ができるほどで五千名まであと一歩です。



北砂小学校六年二組のみなさんが作った連風。いろとりどりで空へ上ったらすばらしいだろうなあ

十二日には、団体を除いて一般の見学者だけで一千二百名余と従来にない数で、また普段の日も中学校の団体見学が増えているなど心強いものです。

今年の風あげ大会にノーマアピキニの連風をクラス全体で作

り大空にあげ優賞した江東区の北砂小学校六年二組のみなさんは、卒業の記念に作ったという六〇枚余の連風をもって代表が展示館を訪問。ピキニの海をき

れいに、みんなで作る平和な世の中を、第五福竜丸を忘れない

などのことばが一枚一文字でならんでいます。早速船のかじの周辺いっぱいにならべましたが声をだして読みあげる子どももあつて人気をさらっています。

四月新学期とともに参観校も増え、五月八日には、福竜丸前を出発し広島にむかう国民平和行進も準備中とのことで、五・二三平和のための東京行動、国連軍縮特別総会むけ展示館は大

## 資料室開設へ一層努力を

### 募金期間も延長・大口募金も

原水爆資料室開設募金は、二月に百五十万円に達して以降少し弱まっていたが、第48回理事会で状況を中間点検、あらためて募金・資料収集の強化を訴えていくことになりました。

三月末日現在の募金総額は、一、五六八、五七四円、およそ一六〇人の方々の募金によるものですが、賛助会員、団体はもと

にぎわいです。

展示館開設六周年へ行動強化——第48回理事会

三月十七日、神田の学士会館で平和協会第48回理事会が開かれ、反核の世論の高揚の中、協会の果す責任の大きさをふまえ、六月の展示館開館六周年へむけさらに行動を強めること、原水爆資料室募金の達成など、当面の行動、財政方針をきめました。

より大きく周囲にひろげていた大口募金を集めることにしました。募金の期間も思いきって五八年度末(83年三月)まで延長、東京都への申請もすませました。去る二十三日には広田専務理事が大口の募金者への協力要請に歩きました。また募金とあわせて物件調査なども行ない

# 核世界の先端

## マーシヤル諸島

### 〈ビキニ初見〉



想像と現実のギャップはままあるものだが、ピキニの「光景」は

<2>

写真 興 島田 文

どその差を感じたことは珍しい。

十五メガトンの水爆を含む二二回の核実験が繰り返されたのだから、大地は焼けただれ、

26年ぶりにピキニに帰島したチクワさん一家、キリ島に移住している村の猛反対を押し切った。危ないピキニへの帰島だった。この四年後の一九七八年環境基準を大幅に上回る放射能をとりこんで一家は再び島をい出された。八一九七四年撮影

島は吹きとび、惨たんたる風景になつていのではないか、と思つてた。

しかし、一九七四年七月には、はじめてピキニを眼の前にした時、見事に「期待」が裏切られたのを知った。背丈の低いヤシの樹、雑草の多く繁ったやや荒涼とした島の風景を除けば、珊瑚礁の海は美しく、魚も多かった。

その時見ることができたのは、ピキニ本島とエンニュー島など核実験場から少し離れた島だったの「こんな筈はない。実験場跡はもっとすごいのに違いない」と思つて、二年後、ピキニに滞在する計画で出かけて行ったわけだが、実験場跡の島々は、確かに破壊の跡はよりひどくなつていたが、基本的には変わらないところも多かった。

ピキニの核実験の破壊のほとんどは、「海」が引き受けた、と気がついたのはその後のことだった。海は核爆弾のものをすごい爆風も、熱線も、そして放射能の大半も(空ごとともに)吸収したのであった。その海は広大なように見えるが、文字どおり一衣帯水で私たちの生活とつながっている。

貸事務室の紹介、提供などもよびかけていくことにしています。

### 前報告以降の募金協力者

杉村行男、日本機関紙印刷所 労組、木村健一郎、川越平和委、草間保、平和と軍縮をめざす東京青年労働者の会、野口早苗、千葉正子、戸倉恒治。

〈敬称略〉

### パンフ「第五福竜丸」改訂へ リーフも衣替え

かくれたベスト・セラーでもあるパンフレット「第五福竜丸」は、75年第一刷、78年第二刷の各一万余が好評のうちに品切れとなり、若干の補強修正、写真のいれかえをおこない四月下旬第三刷発行の予定です。定価も現行どおり二百円。ふりがなつきのやさしいパンフレット。

また、館内見学者に差しあげている無料のリーフレットも、いままでの大型から、簡便なものに衣替え、展示館の写真も、第五福竜丸の写真も入り、だれでも読めるようになりました。